

日本政策金融公庫農林水産事業からのお知らせ —その②④—

広島県の酪農家の皆様へ

このコーナーでは日本政策金融公庫から、酪農家の皆様の経営に役立つ情報を提供して参ります

TOPIC 節電の夏がやって来ました！

公庫では、農業の最新技術を研究してきた「テクニカルアドバイザー」が、酪農や稲作など、各農業分野の最新技術情報を「技術の窓」としてA4サイズの紙にまとめ、皆様にご紹介する活動も行っています。今回は「自給飼料を活用した乳牛の排せつ水分量の低減」についてご紹介します。

(テーマ) 自給飼料を活用した乳牛の排せつ水分量の低減

乳牛のふん尿混合物は他の家畜と比べ水分含量が多く、堆肥化処理においてオガクズ等による水分調整に多くの経費と多大な労力を要しています。このため、適切なふん尿処理の励行には、排せつされるふん尿由来の水分量を削減し、低コストで省力的な処理技術の確立が重要な課題となっています。そこで、ふん尿由来の排せつ水分量は飼料中のカリウム含量に大きく影響されると考えられていることから、カリウム含量の少ない自給飼料を活用して乳生産量に影響なく、排せつ水分量を削減する栄養管理技術を開発しました。

☆技術の概要

- 1 カリウム含量の少ないイネWCSとコーンサイレージを用いてTMR飼料を調製すると、カリウム含量は1%程度の低カリウムの飼料ができ、カリウム含量の多いイタリアンサイレージとコーンサイレージを用いたTMR飼料では、カリウム含量が1.5%程度の飼料となります。
- 2 これらの2種類のTMR飼料と搾乳牛各3頭を用いて飼養試験を行った結果、低カリウムTMR飼料の給与により、各泌乳期において乳牛のカリウム摂取量が減少し、排せつ水分量は10～20%程度低減します。
- 3 堆肥化処理においてふん尿水分を72%に調整するのに使用したオガクズ量(水分25%)は、低カリウムTMR飼料の給与により20～35%程度削減します。
- 4 各泌乳期において飼料摂取量や乳量および乳生産量は、低カリウムTMR飼料の給与に影響されません。

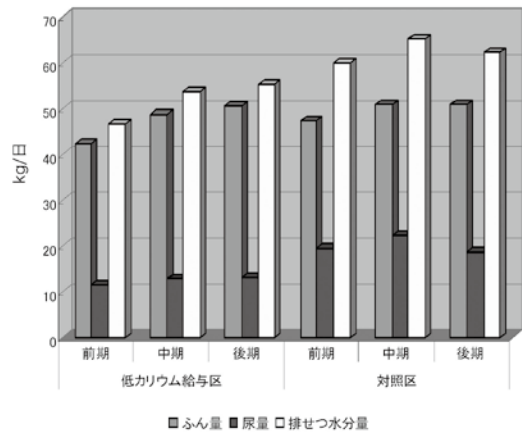


図1 各泌乳期における排せつ水分量とオガクズ使用量

☆活用面での留意点

飼料設計に当たっては日本標準飼料成分表を活用したり飼料中のカリウム濃度を実際に測定することが望ましく、カリウム要求量が増加する夏期の高温時には別途検討する必要があります。詳細は、群馬県畜産試験場大家畜係都丸友久(TEL:027-288-2222)にお問い合わせください。

(株)日本政策金融公庫 広島支店 農林水産事業

所在地: 〒730-0042 広島市中区国泰寺町 2-3-20
TEL:082-249-9152 FAX:082-249-9102

○相談窓口も以下の場所で開催しております。

- | | |
|------------------------------|-----------------|
| 三次相談窓口(毎月第1、第3水曜日、9月は7日と21日) | 場所:三次農業協同組合本店 |
| 庄原相談窓口(毎月第1、第3木曜日、9月は8日と22日) | 場所:庄原農業協同組合本店 |
| 福山相談窓口(毎月第2金曜日、9月は9日) | 場所:日本政策金融公庫福山支店 |

※予約制で開催しております。ご来店の際は事前にご連絡をお願いいたします。